

(連続開催)

# 「第14回 新興感染症感染拡大防止に向けた 地域プラットフォーム形成シンポジウム」

## 2/17 Mon. 14:00～16:00 Webinar

### 開催のお知らせ

JARECでは、COVID-19および新興感染症の感染拡大防止に向けてご活動されている皆さまを対象に、感染症の収束と新たな社会のあり方に向けたシンポジウムを開催しています。

今般、下記要領にてシンポジウムを開催致します。奮ってご参加頂きたくお願い致します。

右のQRコードまたは弊協会ホームページよりお申込み願います。

[https://www.jarec.or.jp/jarec\\_workshop\\_covid19\\_v2/index.html](https://www.jarec.or.jp/jarec_workshop_covid19_v2/index.html)



申込用QRコード

### 「下水疫学調査による感染リスクの予測と経済評価」 14:00～15:00



早稲田大学・人間科学学術院・健康福祉学科教授（医療経済学）  
神奈川県立保健福祉大学・大学院ヘルスイノベーション研究科教授（兼任）  
兪 炳匡氏 博士（医療経済学）

（プロフィール）

1997年 ハーバード大学修士号（医療政策・管理学）

2002年 ジョンス・ホプキンス大学より博士号（PhD, 医療経済学）

2002-04年 スタンフォード大学医療政策センター研究員（2004年以降非常勤研究員）

2004-06年 米国連邦政府・疾病管理予防センター（CDC）エコノミスト

2006-2011年 ニューヨーク州ロチェスター大学医学部公衆衛生学助教授

2011-2020年3月 カリフォルニア大学デービス校医学部公衆衛生学科（終身職）准教授。

2020年 神奈川県立保健福祉大学・イノベーション政策研究センター/大学院ヘルスイノベーション研究科教授  
2023年（現職）

概要：新型コロナウイルス感染症（COVID-19）は2023年5月から感染症法上の5類に分類変更され、感染対策も大幅に緩和されてきた。しかし、世界的な流行はこの先も長期にわたり続くものと予測されている。本講演ではCOVID-19だけでなくインフルエンザ等を含む大規模感染症対策について、米国・日本（神奈川県独自の対策を含む）のこれまでの対策を比較する。また、下水疫学から得られるデータを活用した感染症対策の経済学的評価について解説する。最後に、今後の新興感染症への対策についても提言する。

### 「高感度イムノクロマトキット開発に関する取り組み」 15:00～15:50

埼玉大学大学院 理工学研究科 物質科学部門 応用化学科担当  
幡野 健氏 博士（理学）

（プロフィール）

1997年 3月 筑波大学大学院化学研究科化学専攻博士後期課程 修了

1997年 4月 The University of Toronto 博士研究員

1998年10月 九州大学有機化学基礎研究センター 非常勤研究員

2000年 4月 理化学研究所フォトダイナミクス研究センター フロンティア研究員

2001年 4月 埼玉大学工学部機能材料工学科 助手

2010年 4月 埼玉大学大学院理工学研究科物質科学部門 准教授

2016年 4月 埼玉大学先端産業国際ラボラトリー 教員兼務



概要：我々は特殊な蛍光色素を高分子の中に包含させることで、紫外線照射時に高輝度に発光する微粒子の製造技術に関する特許を取得している。この微粒子に抗体を結合させ抗原などの標的物質の有無を判断するための標識化物質として利用したイムノクロマトキットの開発を行っている。一般的に標識化物質に利用されてきた金コロイドよりも我々の開発した蛍光微粒子の方が視認しやすいため、少ない標的物質でも検出可能となる。そのためイムノクロマトキットの高感度化が達成できる。講演では幾つかの感染症の迅速診断結果について報告する。

第11回 12/9 Mon. 15:00～16:30AP東京丸の内 (Webinar併用)

「感染症制圧に向けたグローバルな取組みとパンデミックに向けた明日への備え」 - パートナーシップの意義と創薬開発の展望

第12回 12/16 Mon. 15:00～16:00 Webinar

「ヒト免疫応答の乱れ」と感染症の重症化と後遺症発症への関与

# これまでのワークショップ開催状況

第1回 2021年3月19日〔金〕 13:30-18:00

(基調講演1)

「新型コロナウイルスとワクチンのメカニズムー  
コロナ対応の行動規範を考える」

第一三共株式会社ワクチン研究所 所長 武下文彦氏

(基調講演2)

「Withコロナ社会の見取り図ー

ウイルスとの共生の視点から」

国立大学法人長崎大学熱帯医学研究所

教授 山本 太郎 氏

(事例紹介1)

(地独) 青森県産業技術センター工業総合研究所

葛西 裕 氏

(事例紹介2)

神奈川県ヘルスケア・ニューフロンティア推進本

部室 牧野 義之 氏

第2回 2021年9月24日 (金) 14:20~17:00

新型コロナウイルス感染症最前線の動きと感染防止に向けた新たなPCR検査体制

(事例紹介1) 「札幌市におけるコロナをめぐる連携体制  
の構築について」

札幌市保健所 疫学担当部長 中西 香織 氏

(事例紹介2) 「大学と行政が共同で取り組む新型コロナ  
ウイルス感染症に対する全自動PCR検査体制の整備と疫  
学研究」

京都大学医学部附属病院 検査部・感染制御部

准教授 松村 康史 氏

(事例紹介3) 「下水疫学による新型コロナウイルス感染  
者の検知と個別施設での適用」

株式会社島津テクノリサーチ

環境事業部 副事業部長兼分析研究センター長

八十島 誠 氏

第3回 2021年11月19日 (金) 14:30~17:00

福岡バイオバレープロジェクトによる新型コロナウイルス感染防止の取組

(事例紹介1) 「新型コロナウイルス感染拡大防止に向けた福岡  
バイオバレープロジェクト事業の紹介」

福岡県商工部新産業振興課水素・バイオ班 企画主幹

藤田 敏明 氏

(事例紹介2) 「ボナックによる新型コロナウイルス感染症治療  
薬の研究開発に向けた取組紹介」

株式会社ボナック R&D本部 久留米RDサイトヘッド

濱崎 智洋 氏

(事例紹介3) 「KAICOによる新型コロナウイルス感染拡大防止  
に向けた取組紹介」

KAICO株式会社 代表取締役社長 大和 建太 氏

第4回 2021年12月17日 (金) 14:30~17:00

地域による新型コロナウイルス感染拡大防止対策の取組

(事例紹介1) 「山梨県によるやまなしグリーン・ゾーン  
認証制度の紹介」

山梨県 県民生活部 グリーン・ゾーン推進課 課長

鈴木 孝二 氏

(事例紹介2) スーパーコンピュータ「富岳」による  
ウイルス飛沫・エアロゾル感染リスクの評価と対策提案  
~飲食店での感染対策を例に~

国立研究開発法人理化学研究所 計算科学研究センター

チームリーダー 坪倉 誠 氏

(事例紹介3) コロナ感染症対策と社会経済活動の両立

東京大学大学院 経済学研究科 准教授

仲田 泰祐 氏

第5回 2022年3月17日 (木) 14:30~17:00

新型コロナの感染予防・治療に向けた地域プラットフォームの構築  
に向けて

(事例紹介1) 「京都発Disease X 感染症対策ワーキング  
グループの取組」

京都府 政策企画部 企画参事 吉岡 信吾 氏

(事例紹介2) 「シトラスリボンプロジェクト~23か月の軌  
跡~」

松山大学 法学部 准教授 甲斐 朋香氏

愛媛大学 社会連携推進機構 教授 前田 眞氏

(事例紹介3) 「新型コロナウイルスはなぜ変異するのか？  
風邪のコロナウイルスになるのか？」

東京農工大学 農学部附属感染症未来疫学研究

センター センター長/教授 水谷 哲也氏

第6回 2022年9月30日 (金) 14:30~16:30

新型コロナウイルスにおける最新の研究開発動向と感染防止対策

(事例紹介1) 「新型コロナウイルス感染症対策に関連  
するAMEDの研究開発支援の状況について」

国立研究開発法人 日本医療研究開発機 (AMED)

創薬事業部創薬企画・評価課

課長代理 池上 貴啓 氏

(事例紹介2) 「新型コロナウイルス感染症対応からみ  
た今後の健康危機管理」

浜松医科大学 医学部 医学科 健康社会医学講座

教授 尾島 俊之 氏

第7回 2022年12月9日 (金) 14:30~16:40

新型コロナウイルス感染防止に向けた地域の対策・指針の紹介

(事例紹介1) 「下水情報の活用による新型コロナウイル  
ス感染拡大防止に向けた取り組み」

東北大学 大学院工学研究科 土木工学専攻

教授 佐野 大輔 氏

(事例紹介2) 「新型コロナウイルス感染対策における県  
内専門家有志による取り組み-岡山県の一例」

岡山大学 大学院医歯薬学総合研究科

疫学・衛生学分野 教授 頼藤 貴志 氏

第8回 2023年2月24日 (金) 14:30~15:00

新型コロナウイルス感染症の行方

(基調講演) 「コロナ禍の行方について」

国立研究開発法人科学技術振興機構 顧問 濱口 道成 氏

第9回 2023年7月3日 (金) 14:25~17:00

新たな感染症のメカニズムと感染者の実態把握に向けた取組

(基調講演1)

「下水疫学調査によるコロナ感染動向の把握に向けた取組」

島根大学医学部Acute Care Surgery講座・高度外傷

センター長 教授 渡部 広明 氏

(基調講演2)

「新型コロナの現状と今後の対策」

東京医科大学病院 渡航者医療センター

特任教授 濱田 篤郎 氏

第10回 2023年10月23日 (月) 14:25~17:15

ウィズコロナ社会の感染対策と行動規範

(基調講演1)

「高齢者における新型コロナウイルス感染症重症化傾向と  
その問題点(コロナ禍を振り返って)」

北海道大学 大学院工学研究院 環境工学部門

准教授 北島 正章 氏

(基調講演2)

「RNAウイルスの変異と新興感染症：世界感染拡大のメカ  
ニズムと備え」

厚生労働省 国立感染症研究所 病原体ゲノム解析研究

センター 主任研究官 佐藤 裕徳 氏

主催・運営・お問合せ先

公益財団法人全日本科学技術協会

コロナ・新興感染症シンポジウム事務局 鈴木・小澤

Tel 03-3831-5911 E-mail corona2024@jarec.or.jp